

日本地質学会第 119 年学術大会（2012 大阪）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 16 日（日）午前

会場	U ホール
	S1. 上町断層の地下構造と運動像ー都市域伏在活断層の地質学ー 座長：三田村宗樹（1-4），竹村恵二（5-8）
9：00	9：00 はじめに，竹村恵二・三田村宗樹・末廣匡基 9：05 上町断層研究の歴史と課題，竹村恵二・三田村宗樹・末廣匡基 9：20 活構造からみた大阪堆積盆地における上町断層帯の性格，岡田篤正 9：40 上町断層周辺の地下構造（反射法探査から），末廣匡基・横田裕 10：00 重力異常からみた上町断層および大阪盆地の構造，井上直人・中川康一・竹村恵二 10：20 深層ボーリング資料からみた上町断層の活動性，三田村宗樹 10：40 ボーリングデータベースからみた上町断層変形帯と活動性，北田奈緒子・井上直人・竹村恵二・三田村宗樹 11：00 個別要素法を用いた撓曲構造復元シミュレーション；上町断層南部地震探査断面にみられる撓曲構造解釈への応用，楠本成寿・竹村恵二・伊藤康人・岩田知孝 11：20 上町断層の活動による強震動，岩田知孝 11：40 総合討論，竹村恵二・三田村宗樹・末廣匡基

第 2 会場
R7. 海洋地質 座長：池原実（1-6），菅沼悠介（7-11）
9：00 反射法探査により見える鹿児島県・鬼界カルデラの陥没・崩壊構造，池上郁彦・清川昌一・大岩根尚・中村恭之・亀尾桂・蓑輪雄人・倉富隆 9：15 沖縄島南西沖に発達する慶良間海裂の地質構造，荒井晃作・佐藤智之・井上卓彦 9：30 深海曳航式音波探査記録による海底熱水マウンド地下浅部構造の解明ー中部沖縄トラフ伊是名海穴の例ー，多良賢二・徳山英一・芦寿一郎・亀尾桂・立田学・KY11-E04乗船研究者一同 9：45 IODP Expedition 331航海による掘削結果及び現場温度測定に基づく沖縄トラフ伊平屋北熱水域の水理構造，正木裕香・高井研・Mike Mottle・Hilairy Hartnett・木下正高 10：00 Brunhes-Matuyama境界年代値：問題点と今後の展望，菅沼悠介 10：15 日本海溝よりピストンコアで採取された東北地方太平洋沖地震のイベント層の岩石磁気からみた特徴，金松敏也・池原研・新井和乃・佐藤智之・笠谷貴史 10：30 JAMSTECコアデータサイトの紹介と展望，佐藤悠介・富山隆将・市山祐司・華房康憲 10：45 東地中海沈み込み帯に発達する泥火山の噴出物供給源深度，喜岡新・芦寿一郎・村岡論・坂口有人・佐藤時幸・徳山英一 11：00 北大西洋IODP Site U1304に発達する珪藻軟泥と浮遊性有孔虫化石からみた第四紀後期の亜極循環の成立過程，山崎誠・嶋田智恵子・佐藤時幸・池原実 11：15 鮮新世温暖期から完新世に至るベーリング海での成層化の強化：IODP U1341とU1343の窒素・炭素同位体比変動，池原実・高仁環 11：30 IODP-CRISPプロジェクトによりコスタリカ沖東太平洋から採取された掘削コアの古海洋学研究，大串健一・大音香織・岩永朋子・Vannucchi Paola・氏家恒太郎・IODP Expedition 334 Scientific Party

第 3 会場
T11. 西南日本地体構造論の現代的問題点（市川浩一郎追悼セッション） 座長：磯崎行雄（2-5, 7），青木一勝（1, 6, 8-11）
9：00 日本の構造発達史における新視点，磯崎行雄 9：15 第2大陸：マントル対流の起源，河合研志・市川浩樹・丸山茂徳 9：30 太平洋型造山運動の新展開：付加体論，造山運動論，構造浸食・島弧の沈み込み，第2大陸，及びマントルダイナミクス，丸山茂徳 9：45 古生代前期深成岩ー變成岩類の年代学的再検討，宮下敦・辻森樹 10：00 碎屑性ジルコン・モナザイトの年代学によって明らかになった三郡-中国帯の地体構造とテクトニクス，早坂康隆・勝部亜矢・藤井正博・伏木治 10：15 碎屑性ザクロ石とジルコンから見た西南日本外帯秩父累帯の地体構造，池内瑠美・宮本隆實・早坂康隆・勝部亜矢・大川真弘 10：30 花崗岩バソリス形成による造山帯内の碎屑物質供給パタンの変化：白亜紀日本の例，青木一勝・磯崎行雄・小福田大輔・山本純之・牧賢志・横山隆臣・平田岳史 10：45 紀伊半島東部の秩父累帯，柏木健司 11：00 北米西岸海岸山脈フランシスカン帯砂質片岩のジルコン年代，寺林優・池田篤史・村上剛史・青木一勝・磯崎行雄 11：15 西ウエールズ，アングルシー島およびスリン半島におけるエディアカラ紀-カンブリア紀付加テクトニクス：海洋プレート層序（OPS）の復元と碎屑性ジルコン年代分析，岡田吉弘・山本伸次・Windley Brian F・藤崎渉・斉藤拓也・青木一勝・平田岳史・丸山茂徳 11：30 西南日本に学ぶ：スコットランドCaledonia造山帯における太平洋型造山運動，鈴木和恵・青木一勝・山本伸次・牧賢志・平田岳史・Windley Brian F・丸山茂徳

※講演番号は，シンポジウム（S），トピックセッション（T），レギュラーセッション（R），国際ワークショップ（W）のそれぞれに，口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします。 ※太字は代表発表者です。

日本地質学会第 119 年学術大会（2012 大阪）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 16 日（日）午前

会場	第 4 会場	第 5 会場	第 6 会場
	T5. 沈み込み帯地震発生帯研究の新たな進展	T8. 新学習指導要領の実施で地学教育はどのように変わるか？	R18. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造
	座長：橋本善孝（1-5）	座長：芝川明義（1-4）、浅野俊雄（5-7）	座長：榊原正幸（1-5）、西山賢一（6-9）
	10：30 現世－過去地震津波発生断層比較研究。 木村 学 ・山口飛鳥・斎藤実篤・浜橋真理・福地里菜・亀田 純・濱田洋平・藤本光一郎・橋本善孝・比名祥子・栄田美緒・北村有迅・水落幸広・長谷和則・明石孝行	10：00 高等学校地学教員採用の状況。 中井 均	9：30 三重県熊野市のツエノ峰周辺の地質と地すべり地形・山体重力変形地形。 小嶋 智 ・永田秀尚・大谷具幸
	10：45 沈み込み帯プレート境界における続成・脱水作用と地震発生。 亀田 純 ・山口飛鳥・濱田洋平・木村 学	10：15 「地学」新課程と旧課程の比較。 浅野俊雄	9：45 和歌山県那智川流域における斜面崩壊の発生頻度。 西山賢一 ・若月 強
	11：00 沈み込み前堆積物に発達する圧密阻害層とその不均質性が決定する断層の位置。 北村有迅 ・金松敏也・山本由弦・川村喜一郎・Novak Beth・小田啓邦・Wu Huaichun・山本朋弘・Zhao Xixi	10：30 高等学校における地学領域の授業の全国的な開設状況。 三次 徳二	10：00 2011年長野県北部地震による栄村中条川上流での岩盤崩壊。 永田秀尚 ・保柳康一・村越直美・ト部厚志・太田勝一
	11：15 南海トラフ付加体浅部泥質堆積物の摩擦特性。 高橋美紀 ・東修平・上原真一・ 金川久一 ・井上厚行	10：45 高校の地学履修者は増える（埼玉県内の高校における新教育課程アンケート調査）。 小幡喜一	10：15 断層数の関係式から予想される深層崩壊の場所。 吉村辰朗
	11：30 付加体スラスト物質の摩擦速度依存性と超低周波地震。 斎藤翼 ・氏家恒太郎・堤 昭人・亀田 純・芝崎文一郎	11：00 大阪における地学教育の現状。 芝川明義	10：30 北海道日高沿岸三石地域の地形と内陸地震の関係に関する予察的検討（その 1. 既存文献による検討）。 大津 直 ・田村 慎・鈴木隆広
		11：15 東日本大震災被災地における中学校理科新学習指導要領の実施への対応。 川村寿郎 ・八柳善隆	10：45 東日本大震災における仙台平野稲作地の津波被害の分布と塩害・土壌汚染に関する検討。 宗田和希 ・香村一夫・栗原正憲
		11：30 2011年東北地方太平洋沖地震前後の教員および高校生の地学教育に関する意識の変化：地震領域の場合。 川村教一	11：00 石垣島サンゴ礁津波石の粘性残留磁化による回転史。 佐藤哲郎 ・ 中村教博 ・箕浦幸治
			11：15 四万十累層群に含まれる黄鉄鉱の形態によるヒ素含有量の違い：フランボイダル型と塊状型。 須藤 宏 ・宮口新治・肝付秀隆・細田 宏・黒木瑞昭・大山洋一・島田允堯
			11：30 セレン汚染された建設発生土浸出水のカヤツリグサ科マツバイによるファイトレメディエーション。 榊原正幸 ・蔵本 翔・岡崎健治・伊東佳彦・大日向昭彦・竹花大介

※講演番号は、シンポジウム（S）、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）、国際ワークショップ（W）のそれぞれに、口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。 ※太字は代表発表者です。

日本地質学会第 119 年学術大会（2012 大阪）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 16 日（日）午前

会場	第 7 会場	
	R8. 堆積物（岩）の起源・組織・組成	
	座長：吉田孝紀（1-4），堀内 悠（5-8）	
8：45	8：45	R8-O-1 米国の白亜系～古第三系ベントナイト層の産状・性質とその成因. 堀内 悠 ・高木哲一・昆 慶明
	9：00	R8-O-2 南東太平洋 ODP1237 地点における漸新世以降の陸源碎屑物供給パターンおよび海洋環境の変遷. 野間恵理子 ・入野智久・ShaariHasrizal・山本正伸
	9：15	R8-O-3 リフト-非活動的大陸縁辺で形成されたレッサーヒマラヤの前期原生代カリガンダキ累層群. 酒井治孝 ・岩野英樹・檀原徹・折橋裕二・瀧上 豊
	9：30	R8-O-4 北海道中の川層群、広尾コンプレックスに含まれる礫の岩石学. 金子聡子・ 志村俊昭 ・七山 太・Kemp Anthony I. S.
	9：45	R8-O-5 陶土層の化学組成－岐阜県恵那市、瀬戸層群原層の例－. 吉田孝紀 ・入江志織・志賀由佳・葉田野希・足立佳子
	10：00	R8-O-6 古土壌相解析による陸域環境の復元：前期始新世赤崎河川システムの古景観. 草場 敬 ・佐野弘好
	10：15	R8-O-7 紀伊半島四万十帯牟婁付加シーケンス（牟婁層群）砂岩の重鉱物組成と碎屑性ザクロ石組成（予報）. 別所孝範
	10：30	R8-O-8 北海道沙流川における河川水中懸濁粒子と河口域海底堆積物の鉱物・主要元素組成. 入野智久 ・山下洋平・関宰・池原研・長尾誠也
	R11. 石油・石炭地質と有機地球化学	
	座長：金子信行（1-3）	
11：00	11：00	R11-O-1 北海道勇払油ガス田における地震探査とその解釈. 河村知徳
	11：15	R11-O-2 山形県余目油田の放散虫化石層序. 小布施明子・ 加藤 進 ・本山 功
	11：30	R11-O-3 四万十帯と秩父帯のシェールガスポテンシャル. 鈴木徳行

■ MEMO ■

■ MEMO ■

※講演番号は、シンポジウム（S）、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）、国際ワークショップ（W）のそれぞれに、口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。 ※太字は代表発表者です。

日本地質学会第 119 年学術大会（2012 大阪）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 16 日（日）午後

会場	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場
	R6. 地域間層序対比と年代層序スケール	T10. ジュラ系+	W. 国際ワークショップ「Geology of Japan」
	座長：里口保文（1-8）	座長：松岡 篤（1-3），石田直人（4-7）	座長：ウォリス サイモン（1-3），奥平敬元（4-6），石渡明（7-8）
14：30	14：30 R6-O-1 日本とフランスにおける白亜系Albian/Cenomanian境界の対比. 高嶋礼詩・西 弘嗣・山中寿朗・井龍康文・高柳栄子・林 圭一・小安浩理・小川草平	16：00 T10-O-1（招待） 宇宙プランクトン活動の経緯と成果について. 岸本直子	14：30 Introduction. Wallis S.
	14：45 R6-O-2 東赤道太平洋IODP Site U1338における中期中新世～更新世の浮遊性有孔虫生層序. 林 広樹・出光恭子・出原祐樹・Wade Bridget・木元克典・西 弘嗣・松井浩紀	16：15 T10-O-2 マイクロCT技術のジュラ紀放散虫化石への応用例. 石田直人・岸本直子・松岡 篤・栗原敏之・木元克典・吉野 隆・松浦 執	14：35 Invited Lecture U-Pb ages of detrital zircons from Korean fold-thrust belts：Implications for the Pre-Mesozoic linkage between Japan and Korea. Moonsup Cho, Wonseok Cheong, Keewook Yi
	15：00 R6-O-3 房総半島南端に分布する鮮新-更新統千倉層群の複合層序と古海洋学的研究. 岡田 誠・所 佳実・畠山晃寿・田村糸子	16：30 T10-O-3 足尾帯葛生地域から産出したマンガン小球体包含層の形態分類と放散虫群集. 荒川竜一・相田吉昭	14：55 W-O-1 Geotectonic evolution of Japan. Isozaki Y.
	15：15 R6-O-4 三浦半島，三浦-上総層群における新第三紀と第四紀の境界. 宇都宮正志・楠 稚枝・中村章子・間嶋隆一・田中裕一郎・岡田 誠	16：45 T10-O-4 中生代の巨大火成岩区の噴火と古環境変動. 黒田潤一郎・堀利栄・鈴木勝彦・大河内直彦	15：15 W-O-2 Time-space distribution and genetic diversity of ophiolites, accreted greenstones and alpine peridotites in Japan. Ishiwatari A.
	15：30 R6-O-5 香川県西部の三豊層群の古地磁気層序. 植木岳雪	17：00 T10-O-5 三疊紀中期赤色チャートの古地磁気学的研究：初生磁化の赤道域古緯度と広域的な二次磁化. 宇野康司・尾上哲治・濱田和優・濱見紗希	15：35 W-O-3 Basement rocks of the South Kitakami and Kurosegawa belts, Japan. Ehiro M.
	15：45 R6-O-6 琵琶湖南東岸，烏丸地区深層ボーリング試料の磁気層序. 林田 明・森田祐也・里口保文	17：15 T10-O-6 石川県白山市の下部白亜系手取層群赤岩層より産出した植物化石群集の変遷過程. 酒井佑輔・関戸信次・松岡 篤	15：55 Break
	16：00 R6-O-7 古琵琶湖層群雄琴仰木火山灰層と上総層群Ks7.03の対比. 中里裕臣・七山 太	17：30 T10-O-7 トピックセッション「ジュラ系+」10年間の歩み. 松岡 篤	16：05 W-O-4（招待） Deep seismic structure beneath the Japanese Islands. Nakajima J., Hasegawa A.
	16：15 R6-O-8 テフラの同定・対比における苦鉄質鉱物の主成分化学組成の有効性の検証. 竹下欣宏・小滝篤夫・三宅康幸・津金達郎		16：25 W-O-5 Cretaceous metamorphic rocks in Kyushu. Miyazaki K., Ikeda T., Maki K., Fukuyama M., Arima K.
			16：45 W-O-6 Granitoid intrusive rocks of Japanese Islands：their temporal and spatial distributions and isotopic characteristics. Nakajima T., Takahashi M., Imaoka T., Shimura T.
			17：05 Break
			17：15 W-O-7 Paired metamorphism in SW Japan：tectonic models for the Sanbagawa and Ryoke belts. Wallis S., Okudaira T.
			17：35 W-O-8 Expected new research progresses of the Shimanto Belt. Kimura G.
			17：55 Discussion
			18：25
			End

※講演番号は，シンポジウム（S），トピックセッション（T），レギュラーセッション（R），国際ワークショップ（W）のそれぞれに，口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします。 ※太字は代表発表者です。

日本地質学会第 119 年学術大会（2012 大阪）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 16 日（日）午後

会場	第 4 会場
	T5. 沈み込み帯地震発生帯研究の新たな進展
	座長：亀田純（6-10），氏家恒太郎（11-14），金川久一（15-18）
14：30	14：30 T5-O-6（招待） Japan Trench Fast Drilling Project（JFAST）：2011年東北地震の巨大滑りを理解するための掘削調査. Mori James ・Chester Frederick・江口暢久・Toczko Sean・Brodsky Emily・小平秀一・Expedition 343scientists
	14：45 T5-O-7 IODP第343次研究航海（JFAST）で実施された掘削同時検層の予察的成果. 斎藤実篤 ・木戸ゆかり・真田佳典・Anderson Louise・Conin Marianne・Jeppson Tamara・林 為人・Moore Casey・Wolfson Monica・Mori Jim・Chester Frederick・江口暢久・Toczko Sean・前田玲奈・Expedition 343乗船研究者一同
	15：00 T5-O-8 Horizontal stress orientations in hole C0019B drilled during IODP Expedition 343. 林 為人 ・Moore J. Casey・Nakamura Yasuyuki・Conin Marianne・Anderson Louise・Mori James・Chester Frederick・Eguchi Nobuhisa・Teczko Sean・Maeda Lena・Expedition 343 Scientists
	15：15 T5-O-9 IODP第343次研究航海東北地方太平洋沖地震調査掘削（JFAST）で明らかになったプレート境界断層の特徴. 氏家恒太郎 ・Mori James・Chester Frederick・江口暢久・Toczko Sean・Expedition 343scientists
	15：30 T5-O-10 東日本巨大地震前後の震発機構の相違が明かす太平洋スラブのプレートダイナミクス. 新妻信明
	15：45 休憩
	16：00 T5-O-11 熊野沖の巨大分岐断層による浅部変形構造. 芦 寿一郎
	16：15 T5-O-12 物性境界における弾性波速度およびAVOパラメータの検討：四国白亜系四万十帯. 橋本善孝 ・土居範昭・坂本 駿
	16：30 T5-O-13 変質海洋地殻の脱水と付加体深部流体の起源・挙動. 山口飛鳥 ・亀田 純・北村有迅・斎藤実篤・木村 学
	16：45 T5-O-14 Costa Rica浸食型沈み込み境界における応力場の時空間変化：IODP Expedition 334. 山本由弦 ・林 為人・白井洋一・金松敏也・斎藤実篤・Zhao Xixi・氏家恒太郎・Paola Vannucchi・Expedition 334乗船研究者
	17：00 T5-O-15 IODP Exp334, コスタリカ沖地震発生帯掘削で採取されたコスプレート上軟泥堆積物の摩擦特性. 堤 昭人 ・亀田 純・氏家恒太郎
	17：15 T5-O-16 地震断層運動に伴う摩擦発熱の検出：ビトリナイト断層温度計の開発をめざして. 北村真奈美 ・向吉秀樹・廣瀬丈洋
	17：30 T5-O-17 スメクタイトー石英混合ガウジを用いた大変位・広速度領域摩擦実験. 大橋聖和 ・廣瀬丈洋
	17：45 T5-O-18 地震断層水素ガスと地下生命圏のリンケージ. 廣瀬丈洋 ・川口慎介・鈴木勝彦

第 5 会場
R19. 地学教育・地学史
座長：矢島道子（1-5），松田義章（6-9）
15：30 R19-O-1 地域から時空システムを学ぶ地学の学習の試み（1）. 松田義章 ・佐藤 誠
15：45 R19-O-2 地域から時空システムを学ぶ地学の学習の試み（2）. 佐藤 誠 ・松田義章
16：00 R19-O-3 学校現場における防災教育の重要性. 尾崎充雄
16：15 R19-O-4 教科書「火成岩の分類」に見る地学教育の変遷. 浅野俊雄
16：30 R19-O-5 地学部の指導から考える新教育課程. 川勝和哉
16：45 R19-O-6 神奈川県西部地域の自然多様性を考慮した自然災害教育. 平田大二 ・中村俊文・谷 圭司・加藤裕之・田代吉宏・尾崎幸哉・杉原英和・五島政一
17：00 R19-O-7 児童生徒が描く成層火山断面図～実験実践から学齢による変化を探る～. 笠間友博
17：15 R19-O-8 ヴェーゲナー（1880-1930）とナウマン（1854-1927）. 矢島道子
17：30 R19-O-9 市川新松の再興. 宮島 宏 ・川崎雅之

第 6 会場
R17. 環境地質
座長：田村嘉之（5-8），川辺孝幸（9-12），香川 淳（13-16）
14：45 R17-O-5 平成23年台風12号によって紀伊半島で発生した地盤災害にみられた地質との関連性. 林 慶一
15：00 R17-O-6 「地盤液状化スクリーニング調査」による不動産の取得検討時に可能な液状化発生リスクの顕在化. 横山芳春 ・中村裕昭
15：15 R17-O-7 千葉県で観測されたやや長周期地震動に関する検討－2011東北地方太平洋沖地震の地震動観測結果から－. 酒井 豊 ・加藤晶子・楠田 隆
15：30 R17-O-8 新潟地震と東北地方太平洋沖地震にともなう沈降現象について. 仲川隆夫
15：45 R17-O-9 2011年東北地方太平洋沖地震による関東地下水盆南東部における地下水位変動. 香川 淳 ・古野邦雄・岡部隆男
16：00 R17-O-10 2011年東北地方太平洋沖地震による人工地盤の変状（その2）－沖合海底から浚渫された埋立シルト層の意味について－. 岩本広志 ・東 将士・樋口茂生・稲田 晃・伊藤彰秀・上加世田聡・川崎健一・楠恵子・佐藤伸司・品田正一・末永和幸・渡邊拓美
16：15 R17-O-11 オールコアボーリングによる液状化層の堆積学的検討. 稲崎富士
16：30 R17-O-12 2011年東北地方太平洋沖地震およびその余震での液状化－流動化現象による被害分布と地質環境－東京湾岸埋立地の千葉市美浜区南東部の被害と稲毛海浜公園内での液状化－流動化層準－. 風岡 修 ・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・酒井 豊・吉田剛・加藤晶子・山本真理・堀井義久・麻生 等・佐藤光男・高梨祐司・楡井 久
16：45 R17-O-13 東日本大震災の津波堆積物を用いた津波堆積物の地球化学的判別方法の開発. 土屋範芳 ・山崎慎一・山田亮一・平野伸夫・岡本 敦・小川康正・渡邊隆広
17：00 R17-O-14 ChIbarakiTo Plume（S字型分布）とFukuToGun Plume（変転L字型分布）について. 木村和也 ・中臺大幾・楡井 久
17：15 R17-O-15 地質汚染調査に基づいた放射線量単元調査. 上砂正一 ・愛甲義昭・香川 淳・木村和也・楠田 隆・佐藤恭一・布施太郎・古野邦雄・増田俊壽・楡井 久
17：30 R17-O-16 自然の階層性と地質学的法則に従う放射性物質（Cs134 Cs137）の挙動. 楡井 久 ・木村和也・中台大幾

※講演番号は、シンポジウム（S）、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）、国際ワークショップ（W）のそれぞれに、口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。 ※太字は代表発表者です。

日本地質学会第 119 年学術大会（2012 大阪）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 16 日（日）午後

会場	第 7 会場
	R10. 堆積相・堆積過程
	座長：西田尚央（1-5），石原与四郎（6-9），片岡香子（10-14）
14：30	14：30 R10-O-1 三日月型砂丘列内の相対位置に関する一考察. 遠藤徳孝・谷口圭輔・村上貴志・竹原幸生・東 良慶
	14：45 R10-O-2 開水路に軽量物質で形成されるベッドフォームの安定領域. 横川美和・辻彬仁・岸本和晃・溝上優次・室川武範・村岡奨・成瀬 元
	15：00 R10-O-3 火山性決壊洪水堆積物中に認められる大規模な内部構造：地中レーダ探査の火山碎屑物への応用. 片岡香子・ゴメス クリストファー
	15：15 R10-O-4 十和田八戸イグニンプライト直上にみられるチャネル埋積型ラハール堆積相. 鎌田耕太郎
	15：30 R10-O-5 九十九里海岸一宮川河口の変遷と洪水イベントとの関係. 七山 太・目代邦康・高橋尚志・大井信三
	15：45 R10-O-6 地中レーダによる河川網状州（安倍川）の 3 次元内部構造. 岡崎浩子・郭 栄珠・田村 亨
	16：00 R10-O-7 阿武隈川流域における放射性セシウムの動態に関する堆積学的研究. 箕浦幸治・山田 努・平野信一・杉原真司
	16：15 R10-O-8 背弧拡大期における前弧域堆積作用：下部-中部中新統三崎層群の例. 奈良正和
	16：30 R10-O-9 北西中国ジュンガル盆のジュラ紀末～白亜紀前期気候変動の堆積記録. 坂井 卓・平野弘道・太田 亮・Li Gang・伏木一泰・田中 聡・松田周太
	16：45 R10-O-10 地中海流出水の開始，進化，およびその効果：Cádiz湾におけるIODP航海339 “Mediterranean Outflow” の概要. 高清水康博・Hernández-Molina Francisco Javier・Stow Dorrik A.V.・Alvarez-Zarikian Carlos・風呂田郷史・Jimenez-Espejo Francisco・黒田潤一郎・七山 太・西田尚央・Exp. 339 乗船研究者
	17：00 R10-O-11 コンターライト堆積相の特徴とその時空的变化：北大西洋スペイン-ポルトガル沖. 西田尚央・Hernández-Molina Javier, F.・Stow Dorrik, A. V.・Alvarez-Zarikian Carlos・風呂田郷史・Jimenez-Espejo Francisco, J.・黒田潤一郎・七山 太・高清水康博・IODP Exp. 339 乗船研究者
	17：15 R10-O-12 シーケンス境界の形成時期－IODP Exp.317ニューギニア南島東方沖陸棚斜面掘削コアの分析結果から－. 保柳康一・村越直美・古藤 尚・小林由季・上端智幸・河潟俊吾
	17：30 R10-O-13 2011年台風12号の降雨により奈良県十津川流域の小原谷に発生した岩屑なだれの特徴. 中屋志郎
	17：45 R10-O-14 海底土石流堆積物に発達する渦構造の分布と削剥痕跡. 中屋志郎

■ MEMO ■

■ MEMO ■

※講演番号は、シンポジウム（S）、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）、国際ワークショップ（W）のそれぞれに、口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。 ※太字は代表発表者です。